

多野藤岡医療事務市町村組合
公立藤岡総合病院だより

SASAEAI

2023
No.41

さ さ え あ い



副院長就任

ご自由にお持ちください

多野藤岡医療事務市町村組合
公立藤岡総合病院だより

SASAEAI ささえあい 2023 No.41

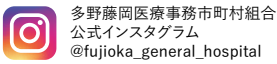
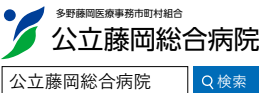
〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地 1 公立藤岡総合病院 経営管理部 企画財政課
TEL 0274-22-3311 (代表) / FAX 0274-24-3161



編集後記

今年も早いもので、気が付けば半年が過ぎました。当院の食堂でも「冷やし中華はじめました」が始まりました。これから夏本番。水分補給をしっかりと、熱中症に気を付けましょう。

新年度から当院においても少しだけ顔ぶれが変わりました。新入職者については、研修医も含めると41名います。副院長の言葉をお借りすると、「顔の見える関係」をまさに目指し、日々研修を行っております。皆様どうぞよろしく願いたします。



公式Youtube



【表紙】副院長に就任した渡部医師が専門とする小児科の一場面です。ここから、この地域の周産期・小児科医療を護ります。

公立藤岡総合病院だより

SASAEAI

さ さ え あ い

病院の理念

地域住民から信頼される医療

基本方針

- 1 患者さんの権利と意思を尊重し、患者本位の医療を提供します。
- 2 地域中核病院として、救急医療、高度専門医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療・介護・保健機関と密接な連携を行います。
- 4 次世代の医療従事者の教育・研修に貢献します。

副院長就任ご挨拶

2023 年 4 月より副院長の職を拝命いたしました渡部登志雄と申します。併せて患者支援センター長の任に就くこととなりました。以前からの院内感染予防対策委員長も引き続き務めております。専門は小児科です。さて、2020 年からのコロナ禍では当院を含め多くの医療機関が大きく翻弄されました。この間、発熱時の受診、紹介入院、県またぎの入院などに制約がかかることがあり周辺の医療機関の皆様や住民の皆様にといろいろと御迷惑をおかけいたしました。この 5 月に 5 類移行となり、日常生活はおおむねコロナ前に近づきつつありますが、院内は感染拡大防止を最優先とし慎重な対応を続けております。しかし、外来受診、他医療機関からの紹介等の医療連携につきましては通常に戻っております。また、コロナ禍で休止されていた地域医療機関との情報交換会や地域住民の皆様への市民公開講座、市民健康教室の開催については再開、若しくは再開を画策しております。

これからも地域に根ざす病院として、「顔の見える関係」を大事にして、新生児から高齢者まで、病院の理念である「地域住民から信頼される医療」をめざして更なる努力をしていきたいと思います。今後とも何卒よろしくお願い致します。

副院長兼患者支援センター長 渡部 登志雄



登録医のご紹介

関口医院

高崎市

院長 関口 哲郎 Sekiguchi Tetsuro

平成8年に高崎市新町に親の診療所を継承し、「町医者」をやっております。

この4半世紀に医療を巡る状況も様々な変化が見られています。我々開業医の業務内容も日々の外来診療に加え、在宅診療、介護保険事業の協力、予防接種、検診事業、学校医、産業医等々の様々な要請に対応していかなくてはならない状況となっています。以前は自院完結型医療が素晴らしいものと考えていましたが、長年通われている患者さんを診ていると「目」「腰」「骨」「頭」等々の問題が重なり、昨今では積極的な連携医療こそが患者さんの為になると実感しています。

時に患者さんの方から「ちゃんとした病院を紹介してください」との要請があり、「ちゃんとしていない医院」はダメだよと凹みながら紹介状を書いています。このような状況の中で当院では、歩いて来られる近隣の方を中心に「町の保健室」を目指しております。「町医者」の一番重要な課題はトリアージをしっかりとできることで、患者さんに「大丈夫!」と言えることが自分の仕事ではないかと考えています。このため後方支援として公立藤岡総合病院のしっかりとしたサポートがあることが当地区において我々が安心して仕事をしていける条件であります。



住所:〒370-1301 群馬県高崎市新町2273-7 TEL:0274-42-0251
診療科目:内科・小児科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・循環器科・消化器内科・人間ドック
診療時間:9:00～12:00、14:30～18:00
※休診日は木曜日・土曜日午後・日曜日・祝祭日

富永クリニック

神川町

埼玉医科大学病院、社会保険病院(現埼玉メディカルセンター)、小川赤十字病院勤務を経て平成17年神川町に内科・小児科を開院いたしました。専門は血液疾患、感染症でしたが、当時の医局は内科全般を診る時代で、あらゆる内科疾患を診療し、社会保険病院では、糖尿病も勉強させて頂きました。これらの臨床経験を活かし、地域に根付いた、家族全員が安心して受診できる「かかりつけ医」を目指しやってきました。神川町(人口約13000人)は川を挟み藤岡市に隣接しているため、藤岡総合病院に紹介するケースが多く、大変お世話になり、改めて御礼申し上げます。神川町は自然に恵まれ、果物は豊富で特に梨は美味しく、金鑽神社(武蔵の二宮) 金鑽大師(大光普照寺)、温泉も有り住み易い地ですが、少子高齢化に伴い人口減が町の課題です。

そんな中、当クリニックでは、患者さんと同じ目線で接し、最新医療を常に学び、地域の皆様に少しでも満足して頂ける医療を提供したいと考えております。



院長 富永 一則 Tomimaga Kazunori



住所:〒367-0232 埼玉県児玉郡神川町新里367-2
TEL:0495-77-0762
診療科目:内科・小児科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科
診療時間:月・火・木・金 9:00～12:00
15:30～18:30
水 9:00～12:00
土 9:00～13:00
※休診日は水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

地域医療支援病院 活動報告

2023 年 4 月より、甲賀英明先生の後任として患者支援センター長を拝命致しました。よろしくお願い申し上げます。

平素より地域医療連携につきまして御理解、御協力を頂きまして誠にありがとうございます。

地域医療支援病院は、地域の病院、診療所などを後方支援する形で医療機関の役割分担と連携を目的とし、地域に必要な医療を確保することを目的としています。その中で、医療連携（紹介率、逆紹介率）、救急医療の提供、医療機器の共同利用、地域の医療従事者に対する研修、退院調整部門の設置、地域医療連携パスの普及。などの設置、向上が求められています。

この 5 月新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し救急外来、紹介等の医療連携はほぼ通常通りに戻っております。今後、上記目標を強く推し進めていくため、救急患者の可能な限りの受け入れ、患者紹介に対する返書記載の徹底、患者支援センターを介してのスムーズな入退院支援、地域連携クリニカルパスの開発、推進などは引き続き行っていきます。また、コロナ禍で休止していた「顔の見える関係」を大事にするための地域医療機関との情報交換会や地域住民の皆様への市民公開講座、市民健康教室の開催については再開、若しくは再開を画策しております。今後も「皆様とともにある病院」をめざし頑張っております。よろしくお願い申し上げます。

副院長兼患者支援センター長 渡部 登志雄

各種統計

	令和 3 年度	令和 4 年度	前年度比
入院 1 日平均患者数	280.3 人	282.1 人	1.8 人
病床利用率	71.2%	71.6%	0.4%
救急車受入数（年間統計）	4,020 件	4,475 件	455 件
地域医療支援病院紹介率	63.1%	68.5%	5.4%
地域医療支援病院逆紹介率	87.1%	90.5%	3.4%
外来 1 日平均患者数	667.1 人	672.3 人	5.2 人
登録医状況	医療機関 239 登録医 265	医療機関 243 登録医 272	医療機関 4 登録医 7
地域医療従事者への研修	11 回	16 回	5 回

地域連携パス統計

(単位:人)

	令和 3 年度	令和 4 年度	前年度比
大腿骨頸部骨折	56	47	- 9
脊椎圧迫骨折	16	18	2
脳卒中	57	59	2
5 大がん	32	34	2

今年度は、新たに7名の研修医を受け入れました。

臨床研修指定病院

公立藤岡総合病院は、臨床研修指定病院となっていて、医学部卒業後医師国家試験を受け医師免許を取得した研修医を2年間受け入れています。2年間は、将来専門とする分野にかかわらず、基本的な診療を身に付けることを目的とした、初期臨床研修を行います。

その内容は、各診療科を学ぶだけでなく、当院の役割や基本的な考えを学ぶため、定期的に行っている災害訓練や医療安全・感染対策についても学んでいます。その他にも虐待に関する研修にも参加し、主に児童の虐待について早期発見や相談所との連携について学んでいます。当院で学べない内容については、他の医療機関へ出向いたり、施設との連携をとるため藤岡保健福祉事務所でも研修を行っています。

当院も他の病院の研修医を受け入れて協力をしています。

このように2年間しっかり学び、一人前の医師となりそれぞれの病院へ就職しますが、これまでも数多くの研修医たちが当院へ戻ってきて診療を行ってくれています。

新人看護職員研修

1人前の看護師になるまで

当院の新人看護職員研修は、厚生労働省の「新人看護職員研修ガイドライン」に則ったプログラムを実施しています。

この研修では、新人看護職員が看護専門職としての基礎知識・技術・態度を習得し、安全・安心で質の高い看護を提供できる実践能力を確実なものとするとともに、不安なく職場適応できることを目的としています。

看護職は、専門職として一生学び続ける職業です。当院の教育は、看護部主催の現場を離れて行われる集合研修（OFF-JT）と、現場で直接、上司や先輩から指導を受け、知識・技術を身につける現場教育（OJT）を組み合わせた研修としています。OFF-JTとOJTが繋がる研修内容を組み立て、研修を通して「自ら考え行動できる」看護職員の育成を目指しています。



1か月フォローアップ研修



静脈注射研修

集合研修

新人看護職員には、看護基礎教育で修得した知識・技術をさらに発展させ、安全な看護を提供することが求められます。看護専門職として、根拠に基づいた看護実践ができるよう、シミュレーターを用いた研修を行うとともに、医師や理学療法士、臨床工学技士ら他職種を講師とした各専門分野の研修を行い、安全で適切な看護の提供を目指しています。

また、新人看護職員のメンタル面の支援目的で、「メンタルヘルス研修」や「フォローアップ研修」を定期的に開催し、新人看護職員同士が交流できる機会を設け、不安の軽減と職場適応を促す取り組みを行っています。

1年間の集合研修を通し習得した看護専門職としての基礎知識・技術・態度を看護の基盤とし、看護実践者としてのステップアップに繋げることを目指しています。

プリセプターシップ

プリセプターシップとは、プリセプティ（新人看護職員）一人に対し、一人のプリセプター（実地指導者）がマンツーマンで一定期間教育・指導を行う、新人看護職員への支援方法です。

プリセプターシップの目的は、プリセプティが深刻なリアリティショックを体験することなく職場に適応し、基本的な知識・技術を習得できることを目指しています。

当院の、新人教育は、「部署全体で育てる」「指導者も共に学び成長する」を基本姿勢としています。プリセプターも、プリセプティへの指導を通じて、自己の看護に関する知識・技術の振り返りができ、プリセプターシップが自己成長の機会となっています。

一年かけての成長

新人看護職員は、4月1日付で各部署に配属されます。配属後の4月は、オリエンテーションをはじめとして、社会人としての生活に慣れること、職場の環境に慣れることを目標にしています。5月以降は、プリセプターを中心とした先輩看護師の指導のもとに、病棟業務の一連の流れを経験します。集合研修での学びを現場で実践しながら、安全な看護についても一緒に考え学んでいき、指導を受けながら少しずつ患者さんを担当し、夜勤業務の経験も重ねていきます。入職半年を迎える頃には、プリセプターや先輩看護師の指導と支えを受けながら、部署の一員として一人で行える看護業務も増え、患者さん一人一人にあった看護が行えるようになります。1年経つ頃には、患者さんとの関わりを通して、看護の基礎知識・技術・態度を習得し、一人前の看護職に成長していきます。



プリセプティ・プリセプター



手術終了後、プリセプターの指導のもと
機材チェック中です

令和5年度看護職入職者



新型コロナウイルス感染症

2類から5類に移行して、当院の対応状況

患者の動向

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ、「5類感染症」に変更されました。それに伴い毎日発表されていた新規感染者数は、特定の医療機関だけが対象となっている「定点把握」となりました。群馬県では、87カ所の医療機関が、患者数を週に1回報告しています。発生状況については、群馬県衛生研究所ホームページ内の群馬県感染情報で毎週水曜日に公開されています。

全国的に新型コロナウイルス陽性者が緩やかに増加傾向にあります。今後、夏にかけ「第9波」の可能性が高いとされ



各病棟をラウンドします



感染制御チームによる院内ラウンド

面会・来院について

5類移行後も面会を制限させて頂いています。院内は免疫力の低い患者さんが入院されておりますので、感染防止のため面会時は、不織布マスクと手指消毒の徹底をお願いします。なお、面会時の詳細な注意事項を病院ホームページ「面会の方へ」に掲載しておりますので、ご確認の上、来院をお願いします。また、外来受診の際も不織布マスクの着用と手指消毒のご協力をお願いします。

患者の動向

感染が再拡大した場合においても診療体制については、これまでと変わらず、受診や入院治療ができる体制を継続してまいります。感染防止対策として今後の流行状況により、面会を禁止とさせて頂くことがありますのでご理解とご協力をお願いします。なお、当院では群馬県の感染状況に応じて、最大20床の新型コロナウイルス感染症の専用病床を確保しております。

5類感染症に移行されてもウイルスの感染力が低下したわけではありません。特に医療機関や高齢者施設は、今までと同様に感染対策を継続していく必要があります。当院でも、引き続き感染対策を慎重に行いながら、診療の継続に努めてまいります。

ています。感染対策として手洗いや手指消毒をおこない、マスクの効果的な場面での着用や「3密」回避、換気をするなどの対策が有効です。

受診について

発熱や咳、咽頭痛、息苦しさ、強いだるさ（倦怠感）などの症状がある場合は、まずは、かかりつけ医や身近な医療機関へご相談ください。かかりつけ医がない場合は、お住いの地域の保健福祉事務所・保健所または県受診相談センターへご相談ください。当院への受診を希望される場合は、まずはお電話でご相談をお願いします。

病院からのお知らせ

電話診療による処方せんについて

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施していました電話による院外処方せんの発行を、令和5年7月31日をもちまして、終了とさせていただきます。

ご理解・ご協力をお願いいたします。



病院のホームページ